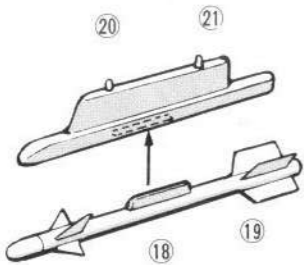


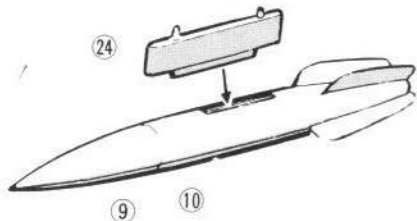
5



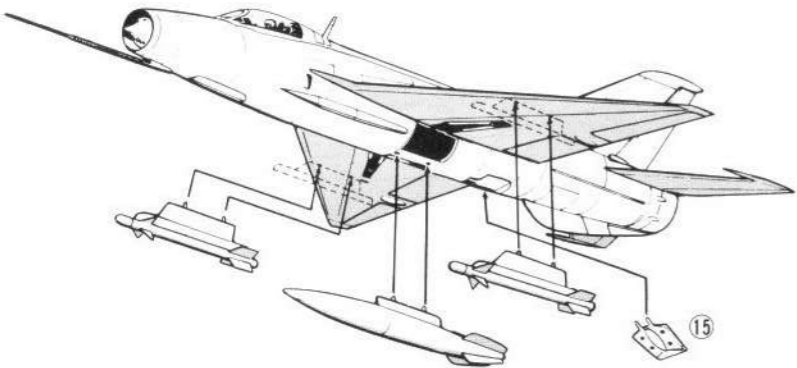
5

ミサイル
組立て

6

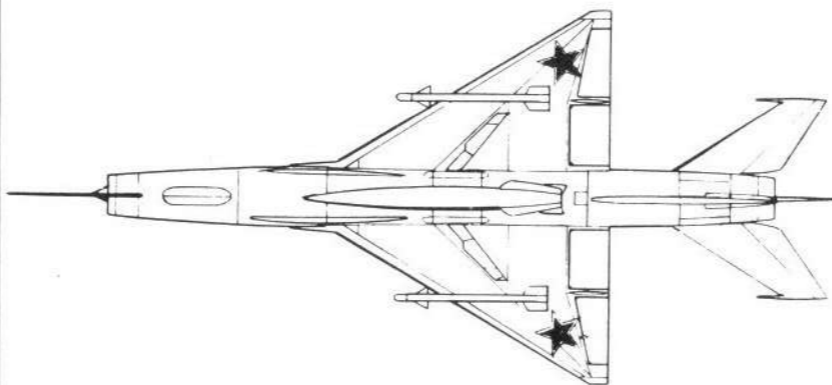
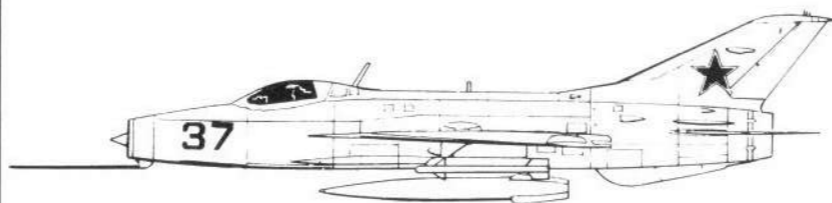
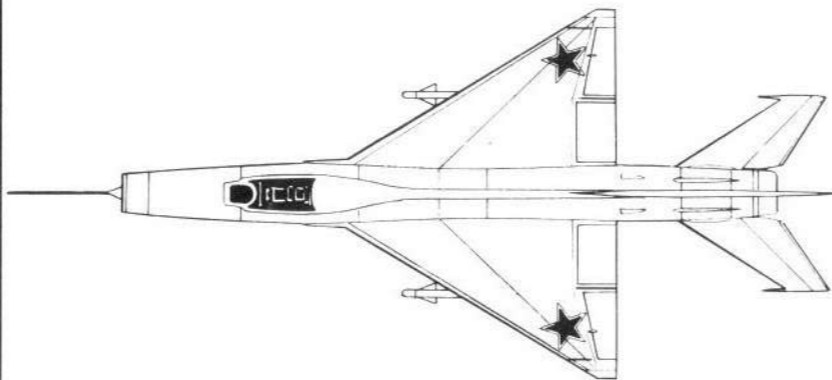
6 増加タンク
組立て

7



7 ミサイル・増加タンク・スポイラー・取付

■デカール参考図



1/72 SCALE MIKOYAN/GUREVICH MIG-21 FISHBED

ソ連及び共産圏諸国戦闘機 ミグ-21 ファッシュベッド

シリーズNo.1



■全天候局地迎撃戦闘機 ミグ-21

共産圏諸国の現用戦闘機の主力をなす、全天候局地迎撃戦闘機で、ソビエトは勿論東欧諸国、ポーランド、チェコスロバキヤ、フィンランド、等その他、エジプト、キューバ、インドネシア、インド、中共等でも最新鋭機として採用され、チェコ・インド・中共ではライセンス生産が行われている。高々度迎撃のために、ロケット・ブースターも併用できるので上昇性能では、特に威力を発揮することが出来る。西欧側では、F-104「スターファイター」が同じ性格を持っているが、高々度での局地迎撃等全般の性能では、これよりも優っていると云われ、現用機中では世界最高の性能を持つといえる。先年、FA1のジェット機の世界速度記録で1000kmの周回コースに、2,319,009km/時を出したE-266という機体も、ミグ-21の改良型であるといわれ、最も大量に生産されているのはC型で、主として昼間迎撃を目的として居り、1959年からソ連空軍に就役している。前縁で55度の後退角をもつデルタ型主翼に、後退角つき水平尾翼を組合わせたソビエト特有の形式と、大きな背ビレと腹ビレは、本機の特長と云える。30ミリ機関砲を1-2門搭載、アトール赤外線ホーミング空対空ミサイル2基を装備している。

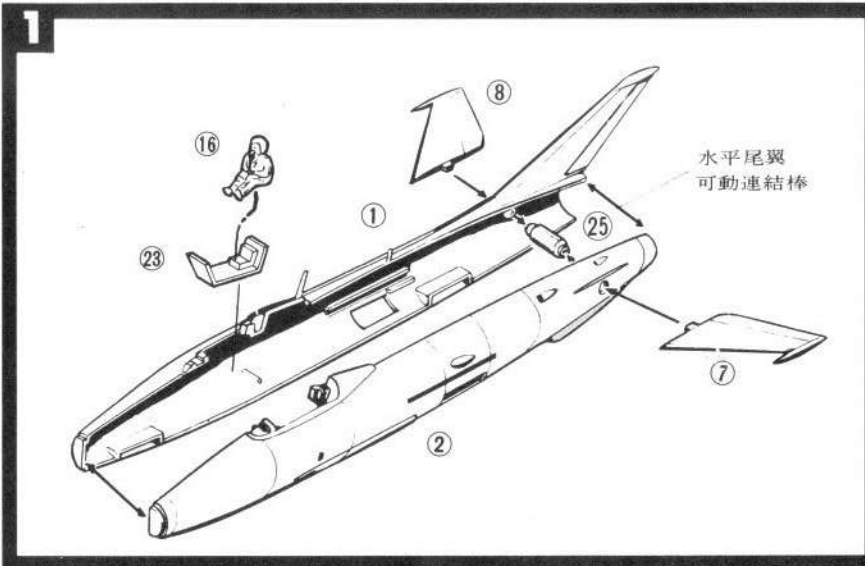
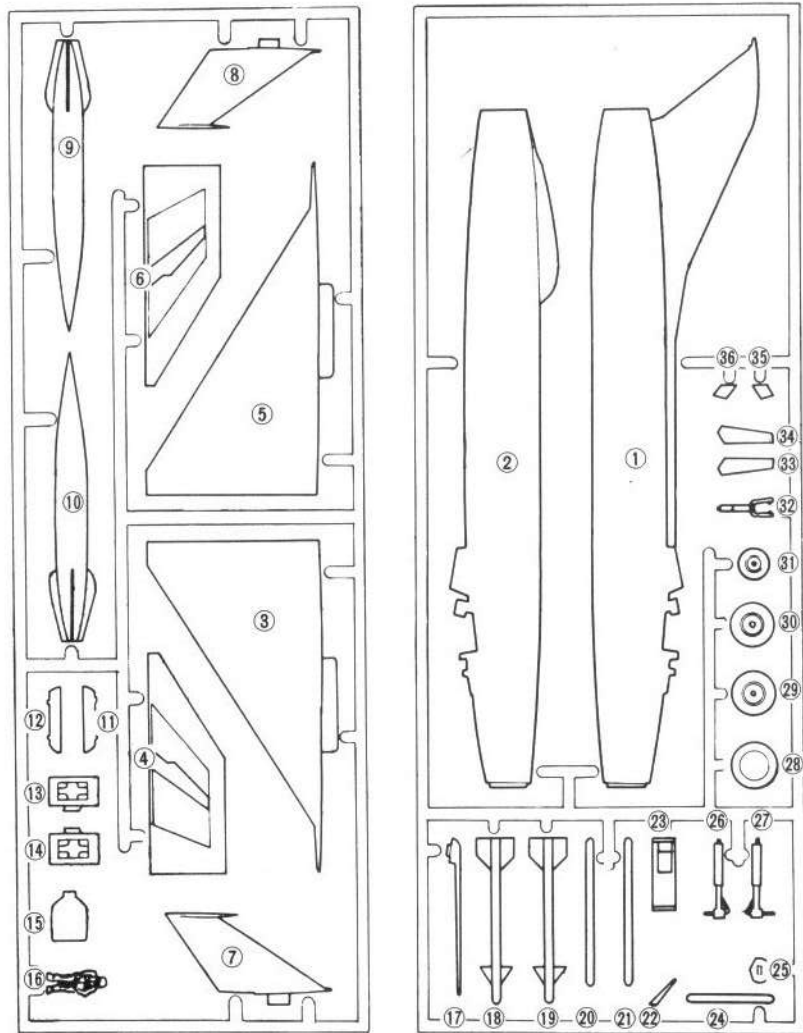
新型のフィッシュヘッドD型は全天候型で、1961年のツシノ・ショーではじめて姿を現わした。機首吸入口の拡大、推力の増加をはかるための機首の大きなラドームが特徴で、性能も一段と向上している。更に現在では、本機を基礎にした大型の双発機MIG-23がすでに生産に入っていると云われる。

1/72 COLLECTORS SCALE KITS

シリーズ No. 2	……ロッキードF-104Jスターファイター	……¥ 200
" No. 3	……リパブリックF-105Dサンダーチーフ	……¥ 250
" No. 4	……川西2式飛行艇I2型(H8K2)	……¥ 1,000
" No. 5	……ノースアメリカンF-86Fセイバー	……¥ 100
" No. 6	……ノースロップF-5Aフリーダムファイター	……¥ 100
" No. 7	……ノースロップT-38Aタロン(F-5B)	……¥ 100
" No. 8	……リングテムコボートA-7AコルセアII	……¥ 250
" No. 9	……BACライトニングF-6	……¥ 250
" No. 10	……マクダネルF-4KファントムII	……¥ 250
" No. 11	……マクダネルF-4JファントムII	……¥ 250

■ 部品図及部品番号(組立てまえに)

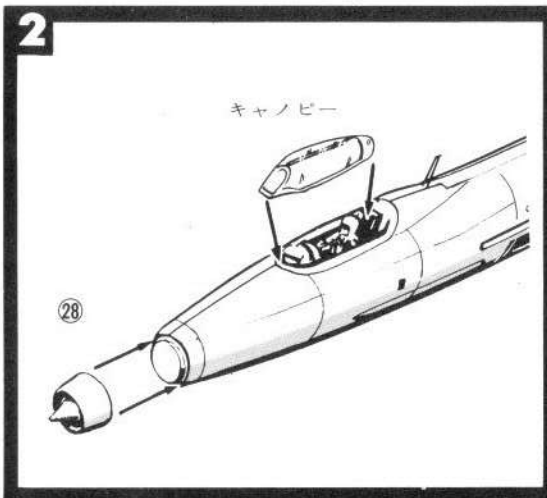
あなたのモデルを組立てるまえによく説明を読んで下さい。そして指示に従って作って下さい。万一バリ(余分に出ている部分)がありましたらナイフ又は紙ヤスリ等で削り取って下さい。細かい部品がたくさんありますのでまず組立てるまえに部品と組立図をよく見て照し合せて下さい。ランナー(枝)から部品を切りはなす時には手でもぎとらないでニッパー又は金工用のハサミでていねいに切り取って下さい。尚部品をランナーから切りはなす時は部品番号がわからなくなりますので最初に全部切り取るような事はしないで組立てる部品だけずつ切り取って下さい。



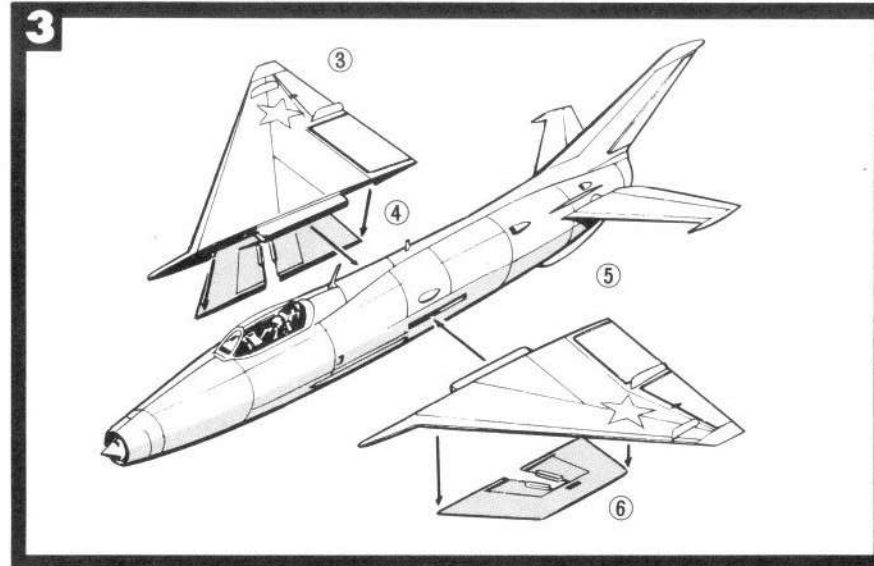
1 胴体組立て・水平尾翼・操縦席・パイロット取付

①⑥パイロット、②③操縦席、⑤⑥水平尾翼可動連結棒は胴体①②を接着するとき同時にはめ込んで接着して下さい。尚⑤⑥水平尾翼可動連結棒だけは接着しないではめ込むだけにして下さい。

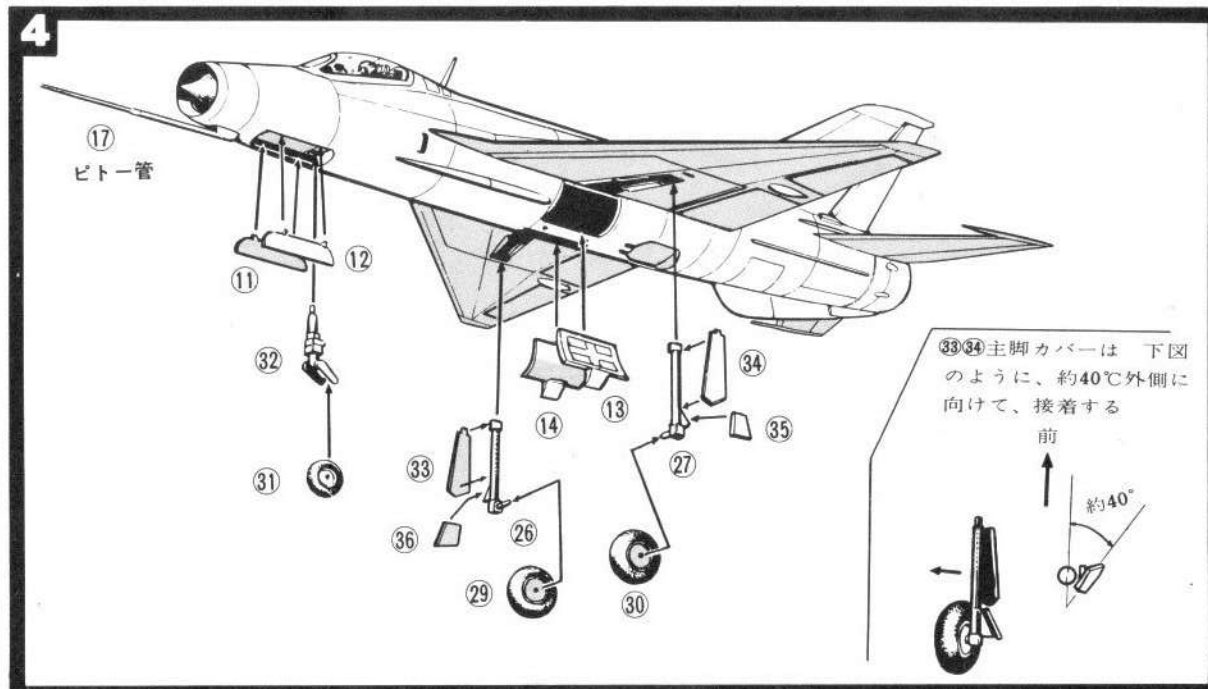
※完成後置いた時に機首が浮き上がってしまうので胴体を接着する時機首の部分にオモリになる物(ネンド又は小石等)を入れて下さい。



2 キャノピー・マッハコーン取付



3 主翼組立て・胴体取付



4 ピトー管・車輪関係・車輪カバー・取付